

北海道消防学校教育訓練等のあり方検討会（第3回） 議事録（簡易版）

- 1 日 時 令和元年(2019年)10月23日(水) 15:00～16:45
- 2 場 所 道庁本庁舎 地下1階危機管理センターB
- 3 出席者 別添「出席者名簿」のとおり
- 4 議題等

(1) 意見交換

「北海道消防学校教育訓練等のあり方に係る方向性（素案）」について

- ・教育訓練のあり方
- ・組織運営体制のあり方
- ・施設整備のあり方

5 議 事

(1) 意見交換

① 教育訓練のあり方について（資料により事務局から説明）

○ 委員からの主な意見

【函館市消防本部 近嵐消防長】

・今まで検討されてきた内容でほぼよいと思うが、これからも、札幌市と調整、連携し、全道消防職員のための教育に相互に協力していただきたい。

【苫小牧市消防本部 寺島次長】

・苫小牧市に限らず、他の消防本部も同じ方向性だと思う。今回上げられた方向性をまとめたものにほぼ同意する。

【小樽市消防本部 土田消防長】

・今までの検討の内容がほぼ組み込まれており、このような方向でやっていただきたい。
特に意見はない。

【旭川市消防本部 吉野消防長】

・方向性については、特に意見はない。
・また、「あり方に係る方向性」等についての各消防本部からの意見において、教育訓練のあり方の中の、団塊の世代の大量退職や災害の複雑多様化の関係については、消防本部からの意見のとおり修正したほうがよい。

【釧路市消防本部 臺丸谷消防長】

・北海道でまとめた内容でいければよい。

また、教育訓練のあり方については、釧路市以外の道内消防本部からこのような意見がでたとのことだが、よりわかりやすいと思う。

【札幌市消防局 輪島消防学校長】

- ・教育の方向性については、意見はない。
- ・特に消防学校との連携の中で、「既存の協議組織等を活用し」の部分に関し、北海道が考えている道・市連携の教育検討部会の中で、どのような部分がより一層連携できるのか、今後しっかり詰めていきたいと思うし、具体的にどのような方法であればできるのか、今一度、協議していただきたい。

【消防大学校 守谷教務部長兼調査研究部長】

- ・これまでの議論の流れをしっかりと踏まえた形になっている。
- ・今後、これを具体的に進めていくにあたって、お手伝いできることがあれば、協力する。

【日本赤十字北海道看護大学 根本教授】

- ・今までの議論の中にでてきたものをまとめたということで、大枠については、意見はない。
- ・自主防災組織の教育について、組織立ての部分は、基礎自治体の皆様方にあると思うので、「消防学校における自主防災組織に対する教育」という文言を「消防学校における市町村と連携した自主防災組織に対する教育」という形で、市町村との連携ということも踏まえていただきたい。

②組織運営体制のあり方について（資料により事務局から説明）

○ 委員からの主な意見

【函館市消防本部 近嵐消防長】

- ・方向性はよい。函館市としては、教員派遣に積極的に協力していきたい。

【苫小牧市消防本部 寺島次長】

- ・この方向性でよい。意見はない。

【小樽市消防本部 土田消防長】

- ・組織体制の教員数は、国の基準を満たすということで、教育、安全管理も充実するので、その方向で問題ない。
- ・行政組織は、どのような位置づけにしたら機能するのかは、北海道が一番わかっているので、こうすることによって、危機管理上を含め、消防学校が一番機能するという体系づくりになるのであれば、全く問題ない。
- ・各消防本部からの意見について、組織体制、行政組織の部分に、緊急消防援助隊等拠点施設としての機能を担うということが行政組織をうたう中に必要なのか疑問。

【旭川市消防本部 吉野消防長】

- ・教員数については、基準に示すこのとおりでよい。
- ・派遣教員を増やす協議の部分についても、積極的に参加させていただきたい。
- ・組織体系については、踏み込んだ表現の方がよい。

【釧路市消防本部 臺丸谷消防長】

- ・派遣教員については、北海道に居住する消防本部として、積極的に参加、協力させていただきたい。
- ・教員数については、安全管理上の問題からも、国の示している基準を満たすべく努力していただきたい。
- ・緊急消防援助隊等に関することについては、この形で進めていただきたい。

【札幌市消防局 輪島消防学校長】

- ・札幌市は独自に消防学校を持っているが、教員数についても、この基本的な考え方である安全管理上や教育の充実を考えれば、札幌市消防学校も実施しているように、国の基準に従った部分が必要だと思うので、この方向性について、意見はなく、その方向性でやるべき。
- ・組織体制については、道消防学校が、道の組織体制の中で、どれが一番適正か判断した形で提案し、まとめていただいているので、特に意見はなく、その方向性でやっていただきたい。

【消防大学校 守谷教務部長兼調査研究部長】

- ・職員に殉難事案が出ている中で、実践的訓練施設が全国的にも注目されている。
- ・しかし、その施設を整備しようとする、実践的なものであることから、教育訓練のときの事故は防がなければならない。しっかりと教員を確保し、安全管理をしていくには大事なことであるので、この方向で進めていただきたい。

【日本赤十字北海道看護大学 根本教授】

- ・特に意見はない。行政組織の部分については、北海道としてしっかりと組織を形づくっていただきたい。

③ 施設整備のあり方について（資料により事務局から説明）

○ 委員からの主な意見

【函館市消防本部 近嵐消防長】

- ・方向性としてはよい。
- ・札幌市消防学校との連携の中に、今後、道で新たに施設を整備した際には、札幌市消防学校の利用を促すとなっているが、新たな施設というのは、実践型訓練施設のことか。
→はい。必要があれば利用していただく。
- ・今後、札幌市で同様の施設をつくる場面があった場合、学校を入校させる側の消防本部としては、道では基本的なものをやる、札幌市消防学校にそのような施設があるのであれば、もっと高度なものをやっていただくということにすると、学生を入校させるときに選択できるようになるので、そのようにしていただきたい。

【苫小牧市消防本部 寺島次長】

- ・方向性に関して、意見はない。
- ・現状を踏まえた中で、何が必要なのかというところを、すごくお金のかかる事業だと思っているので、現状を踏まえた中で、効率のよいものをお願いする。

【小樽市消防本部 土田消防長】

- ・全体的には問題ない。
- ・札幌市と北海道で入れる施設が重複すると、教育を受ける側として使い勝手が非常に悪い状況が想定されるので、札幌市とよく協議して進めていただきたい。

【旭川市消防本部 吉野消防長】

- ・方向性については、特に意見はない。
- ・教育訓練施設で、整備が必要な訓練施設がここに列記されているが、これについては、強く進めていただきたい。
- ・札幌市との連携の部分では、同じものを近くに二つ作る必要はないので、棲み分けは必要である。

【釧路市消防本部 臺丸谷消防長】

- ・道の消防学校としては、これらの施設を作っていただきたい。
- ・江別市の広域指定避難所に指定されていることに関して、江別市との協議も若干でくるものとする。

【札幌市消防局 輪島消防学校長】

- ・方向性については、問題ないと思う。
- ・緊急消防援助隊の拠点機能の中で、立地を考えれば、道消防学校は、拠点施設になる可能性は非常に高いと思う。その中で、避難場所の役割を担うことになれば、緊急消防援助隊が来る部分と市民が来る部分に関し、(札幌市消防学校も同じような位置づけになったときに、市民の避難は受けられないと線引きをしているが、) 江別市役所と整理された方がよい。
- ・施設整備については、教育検討部会か何かの中で、別のカテゴリーの中でそれぞれ意見を言いながら積み上げていきたい。
- ・「あり方に係る方向性」等についての各消防本部からの意見において、施設整備のあり方の中の整備する施設に生活用水供給施設を加えてはどうかとの意見については、これがつけばよいが、非常にハードルが高いと思っているので、検討いただきたい。

【消防大学校 守谷教務部長兼調査研究部長】

- ・大きな方向について、このまま進めていただきたい。
- ・今後、女性比率が上昇してくる可能性があるので、警察や自衛隊の寄宿舍などを参考にし、女性の施設のあり方を考えていただきたい。

【日本赤十字北海道看護大学 根本教授】

- ・大枠の方向性について、意見はない。
- ・緊急消防援助隊の拠点施設の部分で、燃料施設の拡充についても、できるだけ進めていただきたい。

【細川座長】

- ・ A F Tについて、事務局から何か説明はあるか。
→ A F Tとホットトレーニングは、今のところ、札幌市と競合しないような施設になると考えている。

【札幌市消防局 萬年消防局長】

- ・ 広域指定避難場所については、江別市との協議がとても必要になってくる。
- ・ 住民を受け入れるとなると、江別市の職員が来て行うのが筋だが、すぐには来ないので、その間、消防学校の職員で対応できるのか。札幌市消防学校は、対応できないので指定していないが、そこは慎重に進めていただきたい。
- ・ 生活用水の方も、もの凄く水を汲みにくるので、対応できるかどうか。緊急消防援助隊の受け入れに手が回らなければ本末転倒になるので、伝えておく。
→ 避難所については、江別市とよく話し合った上で、しっかり整理していきたい。
また、近くに、中学校もあるので、その活用も含め、協議していきたい。

5 閉 会

(事務局)

- ・ 本日お示ししたあり方に係る方向性案については、いただいた意見や道内各消防本部からの意見などを踏まえ、今後、道で素案を作成し、道議会はもとより、道民意見募集を行った上で、案をとりまとめ、成案化し、並行して予算編成にも対応しながら、スピード感をもって、教育訓練や施設の整備など、時代が求める消防学校の実現に向けて取り組んでいく考え。